

2017年8月25日  
イオン北海道株式会社  
マックスバリュ北海道株式会社

## 9月1日「防災の日」に合わせて 北海道のイオングループ各社で総合地震防災訓練を実施

北海道のイオングループは、9月1日（金）の「防災の日」にあわせて、北海道千歳～苫小牧沖を震源とするマグニチュード7.7（震度6強）の地震が発生したと想定し、総合地震防災訓練を実施いたします。

今回の訓練は、千歳～苫小牧沖を震源とする地震の発生により、千歳市、苫小牧市を含む道央地区を中心に甚大な被害が発生し、地震発生直後の津波により太平洋沿岸店舗において建物・設備等に大きな被害を受けたことを想定し、実施するものであります。

訓練の内容は「発災24時間後」「発災72時間後」の2部構成で、店舗従業員の安否確認訓練・情報収集訓練、営業再開に向けた対応訓練などを実施いたします。また、株式会社エフエム北海道さまや今年は新たに日本航空株式会社さまも参加いただき、外部のパートナー企業との連携訓練も行います。

さらに、訓練の一環として、8月28日（月）にイオンモール札幌発寒にて、一度に約100人収容可能な緊急避難用大型テント「バルーンシェルター」の設営訓練を実施します。

北海道のイオングループでは、総合地震防災訓練をはじめ、多様化するリスクを想定した訓練を継続的に行い、安全・安心な地域づくりを目指して取り組んでまいります。

### 【実施概要】

#### 1. 日 時

2017年9月1日（金）9:00～12:00

第1部 9:00～10:30、第2部 10:40～12:00

#### 2. 場 所

① エリア現地対策本部 イオン北海道株式会社 本社3階会議室

② マックスバリュ北海道機現地対策本部 マックスバリュ北海道株式会社 本社2階会議室

③ バルーンシェルター設置 イオンモール札幌発寒 平面駐車場

※イオン北海道株式会社本社に北海道のイオングループ各社のメンバーが集合し、エリア現地対策本部を設置するとともに、マックスバリュ北海道株式会社現地対策本部とイオングループ本社対策本部（幕張）との連携を図ります。

#### 3. 訓練項目

- ① 安否確認システムによる従業員と家族の安否確認訓練
- ② 「発災24時間後」を想定した訓練  
（安否確認訓練、情報収集訓練、テレビ会議、システム接続訓練等）
- ③ 「発災72時間後」を想定した訓練  
（被災状況確認、物流・IT状況確認、募金活動、各防災協定先さまからの物資要請と対応等）
- ④ バルーンシェルター（一時避難場所）の設営訓練  
（8月28日（月）イオンモール札幌発寒 平面駐車場）
- ⑤ 外部のパートナー企業との連携  
・株式会社エフエム北海道さまとの情報提供訓練  
・イオン北海道(株)と日本航空株式会社さまとの物資要請訓練

#### 4. 参加企業

北海道のイオングループ（イオン北海道(株)、マックスバリュ北海道(株)、イオンディライト(株)、イオンコンパス(株)などをはじめとしたイオングループ15社、株式会社エフエム北海道、日本航空株式会社

### <防災訓練の様子>



※イオン北海道(株)本社にて



※マックスバリュ北海道(株)本社にて

## 【参考】

### ■バルーンシェルターについて

バルーンシェルターは、特定非営利活動法人ピースウインズ・ジャパンが繊維メーカーの帝人と共同で開発した緊急支援活動用の大型テントです。耐風圧性能などの強度も持ち合わせながら携帯性に優れ、ワゴンやヘリ、小型飛行機による運搬も可能です。設置は約30～40分で行うことができ、軽量の素材を空気で送り続けて維持するため、倒壊によるけがなどの心配がありません。立ち上げると、1セット（2基）あたり約100人程度（シングルベッド弱換算）を収容することができ、国内では、2004年10月の新潟県中越地震の時、ジャスコ小千谷店（現：イオン小千谷店）の駐車場で初めて使用されました。道内ではイオンモール札幌発寒、釧路昭和の2カ所、全国では29カ所に設置されています。（2017年7月末現在）

#### ＜バルーンシェルター＞



※イメージ画像です。

#### 【規格（1基あたり）】

開口サイズ：2.2m

奥行き：2基1セットで約11.6m  
（1基 約5.8m）

高さ：内部の高さ3m

重量：60kg

収納サイズ：1×1×0.8m

#### 【本件に関するお問い合わせ】

イオン北海道(株) 総務部広報グループ 佐藤・山崎  
マックスバリュ北海道(株) 経営企画部

電話：011-865-9111

電話：011-631-5192